

●南海トラフ周辺の地殻活動

南海トラフ沿いの地震活動

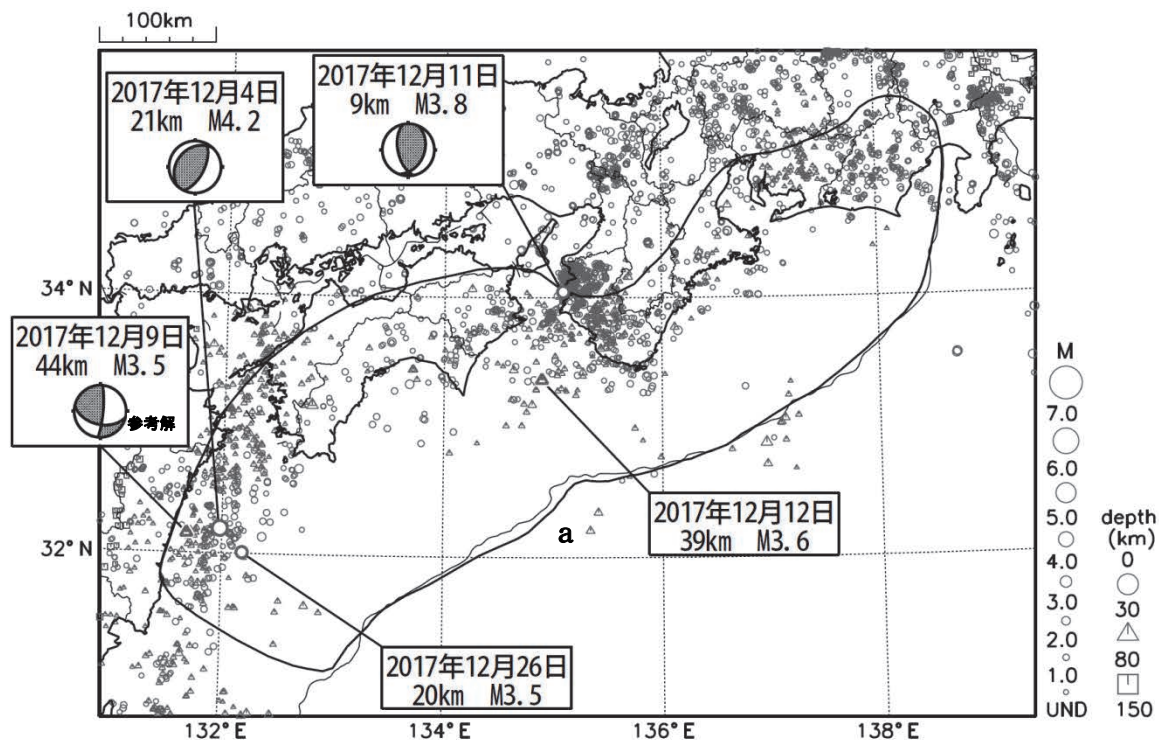


図1 震央分布図（2017年12月1日～12月31日、深さ0～150km、Mすべて、図中の領域aは、南海トラフ巨大地震の想定震源域）

※図中の吹き出しは、領域a内のM3.5以上、それ以外の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺：M3.5以上の地震及びその他の主な地震

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
12/4	16:54	日向灘	21	4.2	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/9	04:21	日向灘	44	3.5	1	フィリピン海プレート内部
12/11	05:39	紀伊水道	9	3.8	3	地殻内
12/12	11:13	四国沖	39	3.6	1	フィリピン海プレート内部
12/26	20:34	日向灘	20	3.5	—	

○深部低周波地震（微動）活動期間

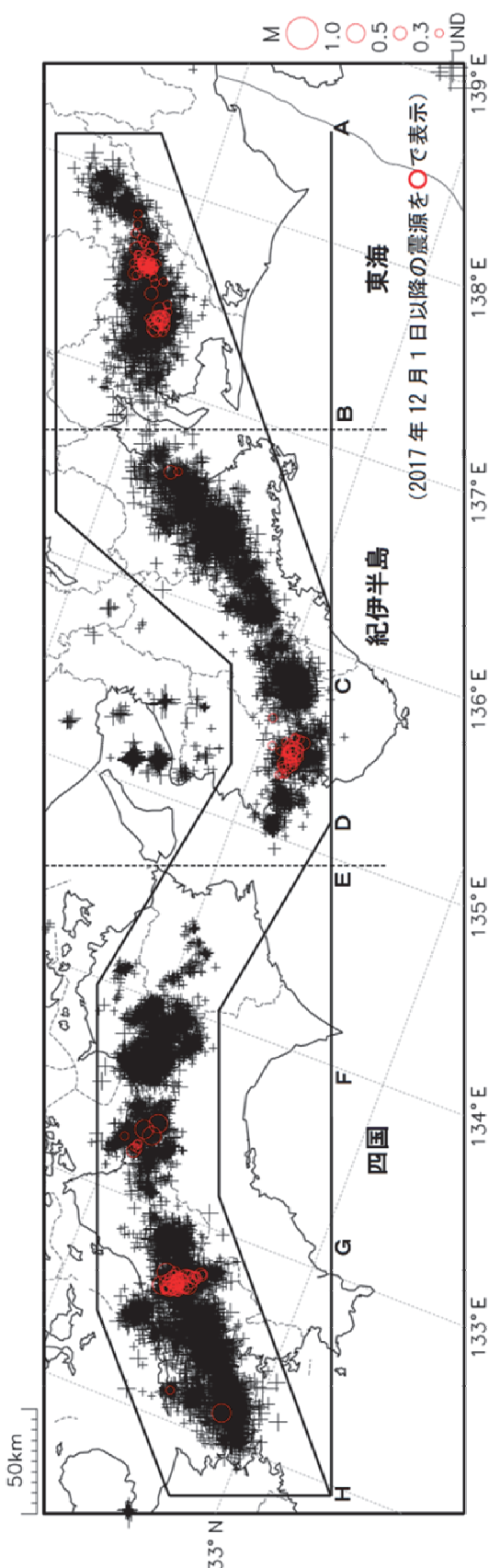
四国	紀伊半島	東海
12月2日～5日 12月7日 12月14日 12月30日	12月1日～3日 12月16日	<u>11月25日～12月5日</u> 12月7日

※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

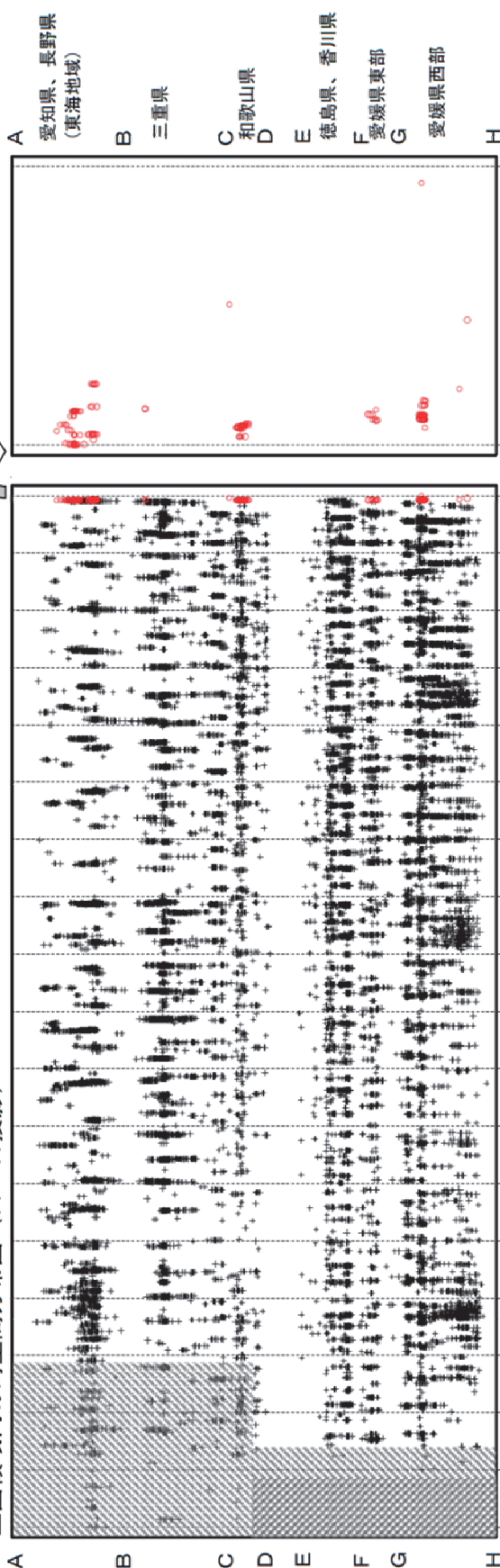
※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）に下線を付している。

※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次頁で示している。

深部低周波地震活動（2000 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日）
 深部低周波地震は、「短期的ゆっくすりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域内の時空間分布図（A～H 投影）



※時空間分布図中、網掛けした期間は現在と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。

気象庁作成